



文京 白ばら

第 63 号

文京区明るい選挙推進協議会

文京区選挙管理委員会

〒112-8555 文京区春日1-16-21

☎ 5 8 0 3 - 1 2 8 7

題字 和田 清

白ばらセミナー 若者フォーラム

平成28年12月17日、文京シビックホール 小ホールに於いて「白ばらセミナー」若者たちが政治参画に踏み出した」を開催しました。このたび、選挙権年齢が70年ぶりに満18歳以上へ引き下げられたことから、行政機関、選挙啓発団体、大学生など、様々な立場の方にご登壇いただき、若者の政治参画等についてのパネルディスカッションを



コーディネーター（写真左）
桑原 稜 氏（学生団体ivote代表）
パネリスト（写真右から順に）
青木 一哉 氏（文京区明るい選挙推進協議会会長）
原田 昌子 氏（練馬区選挙管理委員会事務局情報啓発係長）
浅田 春奈 氏（大学生）
小川 智康 氏（NPO法人 YouthCreate）

行いました。そして、今回のテーマ「参議院議員選挙及び東京都知事選挙における、若者の政治参画の総括」、今後、より若者の政治参画を進めていくための課題」について、熱く意見が交わされました。特に、参議院議員選挙の文京区における18歳の投票率は、74・90%と東京都内で第1位の結果だったことから、この年代の有権者が、今後も継続して投票に行くなど、政治に参画していくためには、何が必要かが議論の中心になりました。来場者も、選挙啓発、若者の政治参画への取り組みに関して、普段聞くことのできない各団体等の様々な意見に耳を傾けていました。

パネリストの熱意ある発言から、活動を通じた興味深い裏話に至るまで、盛りだくさんの内容で、非常に充実した時間となりました。パネリストからの「今日の意見を参考にし、若年層の政治参画をさらに進めるように力を入れたい」という力強い言葉に加え、来場者からも、今後の自分たちの啓発活動における決意表明が語られるなど、会場の全体が前向きな思いを共有して、閉会しました。

若年層啓発グループを立ち上げます!



グループ名称 **「文京 Vote Supporters」**

文京区に在住・在学・在勤の若者を主体に、同年代に対する効果的な取組を行う、若年層啓発グループを立ち上げます。

若者に対する啓発事業の企画・立案等を、同年代が行い、それを実行していくことで、若者の政治及び投票参画意識の向上を図ることを目的とし、4月よりメンバーの募集を開始します。

興味をお持ちの方は、参加を希望される方は、文京区選挙管理委員会事務局まで直接お問い合わせください。また、4月より、区ホームページ上に申込みフォームを開設する予定です。



選挙出前授業・模擬投票

昨年夏の参議院議員選挙から、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられ、文京区における18歳の投票率は、74・90%と非常に高い数値でしたが、これから有権者となる学生たちにも、引き続き積極的に投票へ行ってもらうよう、一昨年度から行っている選挙に関する参加・体験型の授業を今年度も実施しました。

文京盲学校

今年度、初めて都立文京盲学校からの要請を受け、選挙出前授業及び生徒会選挙を行いました。

当日は高校1年生から3年生までの生徒、計32人が参加しました。

まずはじめに、クイズを交えた選挙に関する講話を行い、その後、生徒会長・副会長の候補者演説を経て、投票を行いました。投票の際は、実際の選挙と同様の環境を整え、点字投票や代理投票にも対応しました。また、開票では作業ごとに解説を交えて行い、投票から開票までの全ての流れを知ること、選挙を理解し、身近に感じてもらうための工夫がなされています。



文京盲学校での講話の様子

票でも対応しました。また、開票では作業ごとに解説を交えて行い、投票から開票までの全ての流れを知ること、選挙を理解し、身近に感じてもらうための工夫がなされています。



音羽中で使用したポスター掲示場

中学校

昨年同様、学生団体ivote協力のもと、仮想地区の区長を決める選挙を行いました。候補者は3人で、実際の選挙でも作成される、選挙公報の配布やポスターとその掲示物を作成、候補者演説を行い、それぞれの政策を訴えました。また、今年度から投票前にグループワークの時間を設け、それぞれの候補者の政策のメリット・デメリットについて、グループで話し合うことで、演説の印象だけで投票するのではなく、しっかりと政策に、目を向け考えてもらうことができました。

また、普段はあまり目にするのではない開票作業を見たり、代表の生徒たちに投票事務や開票作業を体験してもらったことで、選挙に対する関心を高めることができました。

小学校

昨年に続いて、本郷小学校で選挙出前授業とリクエスト給食のメニューを決める模擬投票を実施しました。



第一中での投票の様子

出前授業・模擬選挙の感想

● 今回の授業を受けて、文京区の投票率の高さに驚きました。特に18歳の投票率が74%を超えていることに驚き、文京区は選挙への関心が高いと思いました。また、模擬選挙を通して、投票は思ったよりも簡単で、投票上の注意を覚えていけば失敗することもなかったため、少し安心しました。(音羽中)

● 事前授業で政策がかなり頭に入ってきたが、演説を受けてみると、大分印象が違った。根拠がしっかりしているかどうかという面もあつたけれど、予想以上に演説で左右するという所が大きかったように思う。(小石川中等教育学校)

● 投票する候補者を決めるのは、思っていたよりも難しかったです。とても悩みましたが、いい経験になったと思います。今回の体験授業を通して、ただ教科書を読んだりして選挙について勉強するよりも、より深く選挙について知り、選挙を身近に感じられるようになりました。(第一中)

平成28年度実施校

都立文京盲学校
区立音羽中学校
都立小石川中等教育学校
区立第一中学校
区立本郷小学校
筑波大附属大塚特別支援学校
私立獨協高等学校

小学生に関しては、身近なものをテーマにすることや実際の選挙器材に触れることで、選挙をわかりやすく体験してもらいました。

東洋大学学園祭啓発

平成28年11月5日(土)、東洋大学白山キャンパスにて、若年層啓発の一環として、学園祭での啓発活動を行いました。

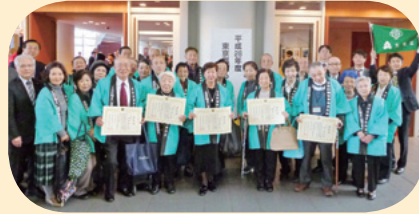
当日は特設ブースを設け、選挙に関するクイズ形式のアンケートや模擬投票の実施、明るい選挙推進委員によるポケットティッシュの配布等を行いました。今回の啓発で、特に印象的だったことは、アンケートで、『参議院議員選挙での文京区の18歳の投票率は何%でしょうか? (正解は74・90%)』という2択の問いに対して、約15%しか正解者がいなかったことです。この結果から、選挙前の啓発のみならず、選挙後の結果等の周知にも、力を入れて取り組む必要があることを実感しました。





東京都明るい選挙推進大会 永年功労者表彰

今年6年ぶりに文京シビックホール大ホールに於いて、東京都明るい選挙推進大会が開催され、明るい選挙推進運動永年功労者として、9名の方が10年表彰を受けました。受賞者の皆さんの永年にわたるご尽力に対し、あらためまして感謝申し上げます。



《10年表彰》 明るい選挙推進運動永年功労者

- 大原地区 櫻木 木よきさん
- 大原地区 田中 福子さん
- 大塚地区 田中 裕之さん
- 湯島地区 赤塚 美智子さん
- 湯島地区 井口 桂子さん
- 湯島地区 石川 良宣さん
- 湯島地区 石山 知子さん
- 湯島地区 丸山 貞子さん
- 根津地区 山下 文子さん

地区別座談会

平成28年10月に、話しあい活動の一環として、文京シビックセンター26階スカイホール・汐見地域センターの2か所にて、地区別座談会を実施しました。

両日とも、多くの明るい選挙推進委員や区民の参加もあり、特に若年層啓発に関する課題等の様々な意見が交わされ、今後の啓発活動につながる有意義な時間となりました。



管外視察

平成28年11月22日(火)に、話しあい活動等の一助とするため、総勢48名でスカイツリーのソラマチ内にある郵政博物館と日本経済新聞等の印刷を行っている日経東京製作センター・東雲工場を視察してきました。

郵便事業や新聞は、選挙を執行する上で、欠かすことのできない関係性を有しており、今回の視察で得た知識を、今後の様々な活動に活かしていきたいと思えます。



※郵政博物館にて説明に聴き入る参加者

るびー



音羽地区
田中輝夫

明るい選挙推進委員をお引き受けして、一年になりました。先輩の皆様にご指導いただきながら、様々な啓発活動を行ってまいりました。昨年は、選挙権年齢が18歳に引き下げられ、また、国の明日と東京の未来を託す大事な参議院議員選挙と東京都知事選挙がありました。今後、ますます明るい選挙の重要性は増すばかりであります。特に、若年層の投票率アップは大きな課題です。中学校での出前授業・模擬投票、大学の学園祭や花まつりでの啓発活動、ポスターコンクールの展示会等、活動は多岐にわたりますが、これからも微力ながら尽力をしていきたいと思っております。



明るい選挙啓発ポスターコンクール

区内の小・中・高校生から「明るい選挙」を推進するためのポスターを募集したところ、昨年から80点以上多い283点の応募がありました。審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞15点、入選14点が選ばれました。さらに東京都の審査では文京区優秀作品の中から、東京都優秀賞2点、東京都入選4点が選ばれ、その後の全国審査では、中央審査入選2点が選ばれました。

また、ポスターコンクール協力校として区立駒本小学校、区立第三中学校、都立工芸高等学校に感謝状が贈られました。

そして、優秀賞の工芸高校1年松生晴佳さんの作品は、文京区選挙管理委員会作成の啓発配布用のポケットティッシュのデザインに採用されました。



都立工芸高等学校1年 近藤 左貴さん



第十中学校2年 山本 葉月さん



第十中学校2年 今場 智美さん

東京都入選・文京区最優秀賞



都立工芸高等学校1年 桑村 実花さん



都立工芸高等学校1年 五十嵐 ななさん

東京都入選・文京区優秀賞



林町小学校6年 平木 麗々さん



本郷小学校6年 榎山 志翔さん



本郷小学校4年 手島 由佳子さん



窪町小学校4年 島野 陽菜さん

文京区優秀賞



都立工芸高等学校1年 杉山 双葉さん



文京区入選受賞者(敬称略)

小学生の部		
学校名	学年	氏名
指ヶ谷小学校	2年	福元 大凱
	3年	池端 友梨
	5年	関 彩華
本郷小学校	5年	関 彩華
金富小学校	3年	貝沼 義礼
駒本小学校	4年	上本 華子
	4年	若色 明香
中学生の部		
学校名	学年	氏名
第三中学校	1年	水津 友花
	2年	望月 康生
第六中学校	2年	満吉 梨音
第九中学校	3年	三枝 由佳
	1年	井上 魁斗
茗台中学校	1年	長田 友樹
	1年	宮下 恵理歌
高校生の部		
学校名	学年	氏名
都立工芸高等学校	1年	赤堀 若葉
	1年	宮下 恵理歌



都立工芸高等学校1年 西川 菜那さん



第八中学校1年 櫻井 詩織さん



茗台中学校1年 星野 晴也さん



都立工芸高等学校1年 松生 晴佳さん



都立工芸高等学校1年 藤村 華さん



都立工芸高等学校1年 廣瀬 彩花さん

選挙人名簿登録者数(3月2日現在)		
合計	女性	男性
176,259人	93,387人	82,872人

東京都議会議員選挙が行われます！ 平成29年7月2日

- 《編集委員》
- 岩瀬 弘子・相蘇 恂子・坂巻 二登
 - 田中 輝夫・鎌倉 精一・柴崎 里子
 - 武田 文夫・富所由紀子・小野 朋子
- (地区順)

そして、『白ばら』を、もっと区民に知って頂き、選挙に繋げていけたらと願いながら、編集後記とさせていただきます。(柴崎里子 記)

丁酉 西暦二〇一七年が明けました。今年星は星まわりで見えてゆくと、九星(きゅうせい)では一からの始めの年だぞうです。さて、アメリカでは大統領にトランプ氏が就任しました。日本への影響が早くも懸念されています。反対デモ参加者は50万人とも言われています。また、日本では、夏には東京都議会議員選挙が予定されています。昨年の参議院議員選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられましたが、若い人たちの投票率は必ずしも良くありませんでした。これから、どのようにしたら、政治に関心を示し、1%でも投票率をアップできるかが、課題だと思います。私利私欲に走らず、国民第一の政治に専念し、危機問題に取り組んでほしいものです。有権者は一票の重みを考え、棄権せず投票してほしいと切に願っております。

そして、『白ばら』を、もっと区民に知って頂き、選挙に繋げていけたらと願いながら、編集後記とさせていただきます。

編集後記